

「徳島大会で蔵本前理事長が消費者支援功労者表彰を受賞」

5月27日(水)、徳島市あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)にて「消費者問題国民会議 2009 徳島大会」が開催された。

今年の消費者月間統一テーマ「消費者新時代 消費者が主役」のもと、内閣府堀田審議官、飯泉徳島県知事の挨拶から始まり盛りだくさんのメニューがあった。



その中で消費者支援功労者の表彰が行われ、ACAP 前理事長(現顧問)の蔵本一也氏を含め西日本地区の 10 名の方々が表彰された。蔵本顧問の表彰理由は

1. ミズノ(株)にて消費者保護の観点から製品安全に徹する企業姿勢を確立した。
2. 顧客保護に関する社内規定を制定し、2006年4月 JISQ10002(ISO10002) 自己適合宣言を行ったほか、日本企業全体への消費者志向体制の整備に貢献した。
3. ACAP においては、消費者啓発活動の推進に積極的に取り組み、各地の消費者センターに ACAP コーナーの開設を行うほか、ACAP 研究所を設立し調査提言活動を行うとともに、企業の消費者担当部門の支援事業を実施したとのこと。

また、蔵本顧問は表彰者を代表して謝辞を述べられた。当日はホール入口付近にて ACAP の消費者啓発資料コーナーの設置し、来場される方々に各企業の消費者啓発資料を配布した。啓発資料は 37 種類で約 1,110 冊を準備していたが、同じ会場別室にて消費者まつりも開催されており、国民会議が始まるまでに全ての資料が無くなるぐらいの盛況ぶりであった。(forum202 号より)

蔵本顧問受賞者代表謝辞 内閣府「消費者問題国民会議2009報告書より」(原文のまま)

只今、平成 21 年度消費者支援功労者表彰を賜りましたこと、大変ありがたく、光栄に存じます。私は蔵本一也と申します。消費者、行政、企業の相互理解を深め、信頼を高める活動を行っている社団法人消費者関連専門家会議、通称 ACAP 理事長を務めておりました。この団体での活動や所属している企業での活動を評価していただいた訳でありまして、とても嬉しく感謝致しております。さて、昨今の消費者を取り巻く環境は随分変化し、悪質な企業による消費者被害も増大しており

ます。そのような状況下におきまして私達の団体の活動は企業 内においてそれぞれのお客様相談室の役割がとても重要であり、企業の社会的責任を遂行し、コンプライアンス経営を高めるためにも、この部門を強化することが必要であるという考えを普及することに努めてまいりました。

消費者との対話の重要性に着眼し各地の消費者関連団体の皆様との交流会や国民生活センターを始め各地の消費生活センターにACAPコーナーを設けさせていただき消費者啓発の為の資料を配付させていただいております。また、本日の会場を出られた所でも配布させていただいております。

今年度におきましては消費者庁が創設されるなど、消費者行政が大きく変化することが予想されております。明治時代以来の殖産興業、産業育成型の行政から消費者重視の行政への変革の年であります。

消費者基本法にありますように、消費者の権利の尊重及び自立を支援し国や地方公共団体、事業者、事業者団体はその責務を果たす必要があります。そのためにも消費者、行政、事業者の三者の関係を良好にし、連携した活動を行うことが重要と考えております。この受賞を励みに益々そのような活動を推進していく所 存でございます。

改めまして、この受賞に感謝し各受賞者の皆様もそれぞれの分野においての活動を益々高められるよう、今後も御指導、ご鞭撻下さることを皆様にお願ひし、受賞者を代表しての挨拶とさせていただきます。

受賞者代表

藏本一也(社団法人 消費者関連専門家会議)